

言語文化特殊講義 2（英語）

履修年度	2025
担当教員	滝口 明子
連番	
曜日・時限・開講期	月曜日 3 時限 後期
期間	後期
授業形態	講義
分野系列	言語文化特殊講義
学年	1 年生
単位	2
開講キャンパス	東松山
科目ナンバリング	150FOLS0012 J
科目とDPの関連	DP1-1★1／DP1-3★2
備考	
最終更新日	2025/1/17 22:24

授業の概要	Cultural Studies : Japan, Asia and the World 文化研究入門。英語で日本、アジア、世界各地の文化について学ぶ。世界の文化を紹介する英語文献講読、DVD視聴を通して、読解力、聴解力を養成する。また各自が研究テーマの一つを選び、そのテーマに関する研究を継続し、グループワークや発表をととして、英語による口頭発表の技法を学ぶ。	
授業の到達目標	1）文化に関する基礎知識を習得する。 2）文化研究に関心を持ち、英語の読解力・聴解力を向上させる。 3）興味をもったテーマについて継続して調べ、考察し、発表する力を身につける。	
DP一覧表		
授業の方式	対面方式	
授業の方法①	演習、グループワーク、発表などを中心とする。 CD、DVDなどの視聴覚教材を用いる。 (基本的に対面式授業です。ただし、新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、オンライン授業に変更となる可能性があります。)	
授業の方法②	特徴	該当有無
	A：企業や自治体と連携した課題解決型学習（PBL）	
	B：討議（ディスカッション、ディベート等）	あり
	C：グループワーク	あり
	D：プレゼンテーション	あり
	E：実習、フィールドワーク	
	F：双方向授業（ICT活用あり：クlicker、DBmanaba等）	
	G：双方向授業（ICT活用なし：対話型、リアクションペーパー等）	
	H：授業前に課題等で事前学習し、授業では復習や応用を行う（反転授業）	
	I：外国語のみで行われる授業	
	J：インターネットを通じて無償で入手可能な授業教材等を利用した授業	
	K：統一試験結果に基づくクラス編成による授業	
	L：少人数クラス編成による授業	
	M：国内の特定の地域に対する理解を深めることを目的とした授業	

	第1回	授業内容	担当教員
		ガイダンス 授業案内 自己紹介	滝口明子
		準備学修（予習・復習等）	必要な時間
		これまでの学習を振り返り、今後の自分の目標を明確にする	4時間
	第2回	授業内容	担当教員
		文化研究入門（1） DVD視聴 文献講読	滝口明子
		準備学修（予習・復習等）	必要な時間
		前回配布資料に目を通し、予習する	4時間
		授業内容	担当教員

授業 計画	第3回	文化研究入門（2） DVD視聴 文献講読	滝口明子
		準備学修（予習・復習等）	必要な時間
		配布資料に目を通し、予習する	4時間
	第4回	授業内容	担当教員
		文化研究入門（3） DVD視聴 文献講読	滝口明子
		準備学修（予習・復習等）	必要な時間
	第5回	配布資料に目を通し、予習する	4時間
		授業内容	担当教員
		文化研究入門（4） DVD視聴 文献講読	滝口明子
	第6回	準備学修（予習・復習等）	必要な時間
		自分のテーマについて調査・文献読解	4時間
		授業内容	担当教員
	第7回	中間のまとめ 発表	滝口明子
		準備学修（予習・復習等）	必要な時間
		発表資料作成	4時間
	第8回	授業内容	担当教員
		文化史（1）	滝口明子
		準備学修（予習・復習等）	必要な時間
	第9回	自分のテーマについて調査・文献読解	4時間
		授業内容	担当教員
		文化史（2）	滝口明子
	第10回	準備学修（予習・復習等）	必要な時間
		自分のテーマについて調査・文献読解	4時間
		文化史（3）	滝口明子
	第11回	準備学修（予習・復習等）	必要な時間
		自分のテーマについて調査・文献読解	4時間
		文化史（4）	滝口明子
	第12回	準備学修（予習・復習等）	必要な時間
		自分のテーマについて調査・文献読解	4時間
		文化史（5）	滝口明子
	第13回	授業内容	担当教員
		発表（1）	滝口明子
		準備学修（予習・復習等）	必要な時間
	第14回	発表資料作成	4時間
		授業内容	担当教員
		発表（2）	滝口明子
	第15回	準備学修（予習・復習等）	必要な時間
		振り返りシートの確認	4時間
		今期に各自作成した課題レポートの整理と復習	

フィードバックの方法			毎回授業開始時に課題のチェックを行い、直接その場でフィードバックを行う。 「振り返りシート」（各自毎回記入）の質問などについては、次回以降の授業で回答する。
教科書			教科書を指定する場合は、初回授業で指示しますので、必ず出席して下さい。
参考文献など			授業中に参考文献リストを配布します。
成績評価の方法・基準	評価方法	割合(%)	評価基準
	筆記試験	0	なし
	実技評価	0	なし
	レポート評価	20	自分の調べたことや考えたことを論理的に述べているか
	平常点評価	80	発表等授業への参加度、小テスト、提出物の内容
	その他	0	なし
履修上の注意			文化に関心があり、英語で日本、アジア、世界の文化について学ぶ意欲のある学生を歓迎します。 欠席の場合は、必ず事情を担当教員に伝えて下さい。 出席日数が3分の2に満たない場合は、評価の対象外になる場合があります。
連絡先・連絡方法など			研究室は第2研究棟3階344です。 E-mail : t047587@st.daito.ac.jp（但し、メールでの問合せは、本学発行の自分のアドレス（s学籍番号@st.daito.ac.jp）から行い、学籍番号・氏名を必ず明記すること。）
実務経験①			なし
実務経験②			なし
その他			なし